

さいたま市立植水小学校

〒331-0057 さいたま市西区中野林 2 2 5 - 1

TEL 048-624-4235

FAX 048-624-2280

Web ページ <http://uemizu-e.saitama-city.ed.jp/>



学校だより

～創立137周年～

令和7年度 7月号 令和7年7月1日 発行

「声をかけ合っていきましょう !!」

さいたま市立植水小学校

校長 保坂 泰司

地域・保護者の皆様、こんにちは。そろそろ梅雨も明けそうですが、明けたら明けたで、「夏」がやってきます。強い日差し、高い気温などへの対策をしっかり行い、体調を崩さぬよう気を付けてください。また、こまめな水分の補給も忘れずにお願いいたします。

さて、先月の21日(土)から23日(月)の間、本校の5年生は「館岩少年自然の家」へ2泊3日で行ってきました。少年自然の家は、植水地域とは違い大自然の中にあります。そのような環境の中で、ハイキングや源流探検、ニジマス捌き、そして仲間と協力して生活しました。集団でスムーズに行動、生活するために一人ひとりには食事係、保健係などの役割が与えられています。子どもたちは、自分の役割に責任をもってやり通すことができました。その結果、全員無事に自然の教室における活動を終えることができました。今回の自然の教室における子どもたちの活動の様子を見ていて、感心させられたことがあります。それは、「互いに声をかけ合う」姿をたくさん見ることができたことです。源流体験では、声だけではなく手を差し伸べる場面も多く見られました。周囲を見て、仲間が困っていたならば、声をかけ手を差し伸べる。素晴らしいことですね。

先月は「いじめ撲滅強化月間」として、学校全体で「いじめは絶対にあってはならない」「いじめは卑怯なこと」「他者を尊重すること」などを再確認するために、様々な取組を行いました。その中で、紹介したい取組が「今日のありがとう通信」です。この取組は、放送委員会が企画したもので、学校生活の中で何かしてもらった友だちに「感謝の気持ち・ありがとう」を伝えるものです。「赤白帽子を探してくれた」「転んでしまった時、助けてくれた」「一緒に帰ろう!!」と誘ってくれたなど、声かけや手を差し伸べてくれた人に対して「感謝の気持ち・ありがとう」を給食時の放送で伝えました。困っている友だちがいたら、手を貸してあげる。そして、手を貸してもらったら感謝の気持ちを伝える。これもまた、素晴らしいことですね。

以上、館岩少年自然の教室、いじめ撲滅強化月間から、相手を思いやり行動する、それに対して感謝の気持ちを伝えることで、あたたかな、ぽかぽかした雰囲気生まれました。この雰囲気に包まれた中で、子どもたちは安心して学習や運動、その他の学校行事に取り組み、その結果、自らを高めることができ、「よりよい成長」に繋がっていくと確信しております。このような雰囲気がいつまでも持続するよう、本校職員一同見守り及び声かけを大切にしていきたいと思います。

最後に、今月末から「夏休み」が始まります。子どもたちには、暑さによって体調を崩さないよう生活リズムを大切にして(参考:さいたま市 HP「すくすく のびのび 子どもの生活習慣向上キャンペーン」で検索)、また、安全に気を付けて有意義で思い出に残る「夏休み」にしてほしいと願います。どうぞ、ご家庭でも「夏休みの過ごし方」について話題にしてくれたら幸いです。

祝 植水小学校 開校137周年 !!



今月の3日は、植水小学校開校137周年となります。明治5年に「学制(教育を充実させることで、国民の知識を高め国家の近代化を図った)」が制定されました。翌年、水判土村の「慈眼寺」に「水判土学校」、植田谷村の「林光寺」に「植田谷学校」が開校されました。その後、しばらくたった明治22年に「町村令」が施行され「植水村」が誕生しました。その「植水村」の7つの区域のうちの植田谷と水判土の頭文字をとって、その年の7月3日、林光寺に「植水尋常小学校」が設立されました。